

【その他】

●この薬の取扱い上の注意は？

- ・この薬は防湿のためにアルミ袋に包装していますので、使用開始直前にアルミ袋を開けてください。
- ・青色の押しボタンは絶対に外さないでください。
- ・強い衝撃を与えないでください。また、キャップ及びマウスピース以外の本体を絶対に分解しないでください。

●この薬の保管方法は？

- ・吸入時以外は、キャップをつけて専用の保管容器に入れてください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・マウスピース（吸入口）が汚れた場合は、乾いたティッシュペーパー等で拭いてください。絶対に、吸入器を水で洗ったり、湿ったものでマウスピースを拭いたりしないでください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●廃棄方法は？

地方自治体により定められた廃棄処理法にしたがってください。（この容器の材質は、プラスチックです。）

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 大塚製薬株式会社 (<http://www.otsuka.co.jp>)
医薬情報センター
電話番号：03-3257-6599

アラバ錠 10mg、アラバ錠 20mg、アラバ錠 100mg

【この薬は？】

販売名	アラバ錠 10mg Arava 10mg Tablets	アラバ錠 20mg Arava 20mg Tablets	アラバ錠 100mg Arava 100mg Tablets
一般名	レフルノミド leflunomide	レフルノミド leflunomide	レフルノミド leflunomide
含有量 (1錠中)	10mg	20mg	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗リウマチ剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、関節リウマチで起きている異常な免疫反応を改善します。これにより、関節リウマチによる関節の腫れや痛みなどの症状を改善したり、関節や骨の破壊の進行を遅らせて、その運動機能を保ちます。
- ・次の病気の人に処方されます。

関節リウマチ

- ・この薬は、通常2週間～3ヵ月（人によって差があります）で効果があらわれますが、医師が経過を見ながら投与量を調整します。体調が良くなったと自己判断し、使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することが

あります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬は長期にわたり使用し続けることが多く、また、使用している間に重篤な副作用があらわれることもあるので、この治療の必要性や注意すべき点等について十分理解できるまで説明を受けてください。

○この薬により重篤な副作用があらわれることがあります。以下の症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

咳（から咳など）、発熱、呼吸困難、発疹、皮膚のかゆみ、口内炎、全身がだるい、黄疸

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアラバ錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・妊婦または妊娠の可能性がある人、授乳中の人
- ・慢性肝疾患のある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・貧血、白血球減少、血小板減少のある人
- ・骨髓機能が低下している人、骨髓抑制の起こりやすい人
- ・過去に肝臓に障害のあった人
- ・腎臓に障害のある人
- ・重い感染症にかかっている人、または重い免疫不全（AIDS等）の人
- ・間質性肺炎や肺線維症などの肺障害のある人、日和見感染による肺炎の人、または過去にこれらの疾患と診断をされたことがある人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を最近まで使用していた場合や現在使用している場合、また、この薬の使用をやめた後に新たに他の薬を使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などに合わせて、医師が決めます。

この薬は、通常、成人には、使用開始から3日間は100mg錠を1日1回、1錠ずつ使用し、4日目からは20mg錠（あるいは10mg錠）を1日1回、1錠ずつ使用します。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で、かまずに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気づいた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の飲む時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く使用した場合、腹痛、下痢、吐き気、嘔吐などの症状があらわれるおそれがありますので、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。過量使用の治療薬としてコレステラミン等があります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用開始前に胸部X線等の検査があります。
- ・この薬を使用中は、通常使用開始後6ヶ月間は1ヶ月に1～2回、その後は1～2ヶ月に1回の血液検査、血圧測定等があります。
- ・この薬により重篤な副作用があらわれることがあります。以下の症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
咳（から咳など）、発熱、呼吸困難、発疹、皮膚のかゆみ、口内炎、全身がだるい、黄疸
- ・本人あるいはパートナーの方がこの薬を使用している間は、妊娠しないように注意してください。また、この薬を使用している間に妊娠がわかった場合には、すぐに主治医に相談してください。妊娠を希望する場合も、主治医に相談してください。
- ・この薬は使用中止後も体内からの消失に時間がかかるため、使用をやめてから2年以内に妊娠を希望する場合は、コレステラミン等を使用してこの薬の成分を体外へ排泄させる必要があります。
- ・この薬を使用中は、できるだけ飲酒を避けてください。
- ・この薬により、身体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなる場合があります。人ごみを避けたり、帰宅後は手洗いやうがいなどをして、感染症にかからないよう気をつけてください。
- ・この薬を使用している間は生ワクチン〔麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふく風邪、水痘（みずぼうそう）、BCG、ポリオ（小児まひ）など〕の接種はできません。また、この薬をやめた後に接種する場合も注意が必要です。接種の必要がある場合には主治医に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しま




した。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー 様症状 あなふいらきしーようしょうじょう	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (すていーぶんずーじょんそんしょうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
中毒性表皮壊死融 解症 ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう	関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、からだがだるい
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、動悸、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおざがができる、息切れ
肝不全 かんふぜん	吐き気、嘔吐、羽ばたくような手のふるえ、食欲不振
急性肝壊死 きゅうせいかんえし	羽ばたくような手のふるえ、意識の低下、考えがまとまらない、食欲不振、吐き気、判断力の低下、皮膚が黄色くなる、嘔吐、からだがだるい、白目が黄色くなる
肝炎 かんえん	嘔吐、からだがだるい、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、吐き気
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、嘔吐、白目が黄色くなる、尿が黄色い、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる
感染症 かんせんしょう	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
膵炎 すいえん	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中への痛み、嘔吐

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい、ふらつき、高熱、発熱、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、かぜのような症状
頭部	考えがまとまらない、意識の低下、めまい、頭痛
顔面	ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐、から咳
胸部	動悸、息切れ、息苦しい、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気、胃・おなかの激しい痛み
背中	背中での痛み
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	じんましん、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、かゆみ
尿	尿が黄色い、尿が褐色になる
その他	判断力の低下、陰部の痛み、出血しやすい

【この薬の形は？】

販売名	アラバ錠 10mg	アラバ錠 20mg	アラバ錠 100mg
形状	円形の錠剤 	三角形の錠剤 	円形の錠剤 
直径	7.1mm	7.1mm	9.6mm
厚さ	4.1mm	4.1mm	5.2mm
重さ	153.5mg	153.5mg	376.5mg
色	白色	微黄白色	白色
識別コード	ZBN	ZBO	ZBP

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アラバ錠 10mg	アラバ錠 20mg	アラバ錠 100mg
有効成分	レフルノミド	レフルノミド	レフルノミド

<p>添加物</p>	<p>乳糖、トウモロコシデンプン、ポビドン、軽質無水ケイ酸、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910、マクロゴール 6000、酸化チタン、タルク</p>	<p>乳糖、トウモロコシデンプン、ポビドン、軽質無水ケイ酸、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910、マクロゴール 6000、酸化チタン、タルク、黄色三二酸化鉄</p>	<p>乳糖、トウモロコシデンプン、ポビドン、軽質無水ケイ酸、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910、マクロゴール 6000、酸化チタン、タルク</p>
------------	---	---	---

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かない所に保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サノフィ・アベンティス株式会社

(<http://www.sanofi-aventis.co.jp>)

くすり相談室

フリーダイヤル 0120-109-905

リウマトレックスカプセル2mg

【この薬は？】

販売名：リウマトレックス カプセル 2mg Rheumatrex Capsules 2mg

一般名：メトトレキサート Methotrexate

含有量：1カプセル中 メトトレキサート 2mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗リウマチ剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、免疫機能をつかさどっているリンパ球や、炎症に関係している細胞の働きを抑えます。関節リウマチで異常な状態となっている免疫反応を抑えることで、関節の腫れや痛みの症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

慢性関節リウマチ

(過去の治療において、非ステロイド性抗炎症剤および他の抗リウマチ剤により十分な効果の得られない場合に限る。)

- ・この薬は、通常1～2ヶ月で効果が認められてきますが、医師が経過を見ながら使用量を調整します。体調がよくなったと自己判断し、使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬は長期にわたり使用し続けることが多く、また、使用している間に重篤な副作用があらわれることもあるので、この治療の必要性や注意すべき点等について十分理解できるまで説明を受けてください。
- この薬を使用しているあいだに、重篤な副作用があらわれることがあります。以下の症状が認められた場合には、ただちに医師に連絡してください。
発熱、せき（からせき）、息切れ、息苦しさ、口内炎、（ひどく）疲れやすい、のどの痛み、からだがむくんだ、かぜのような症状、尿の量・回数が急に減った
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・過去にリウマトレックスに含まれる成分やメトトレキサート製剤で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・骨髄抑制がある人
 - ・慢性肝疾患がある人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・授乳中の人
 - ・胸水、腹水などがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
- ・間質性肺炎や肺線維症などの肺障害がある人、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・非ステロイド性抗炎症剤（かぜ薬や痛み止めなどに入っていることが多い）を飲んでいる人
 - ・水痘（みずぼうそう）にかかっている人
 - ・毎日飲酒している人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などに合わせて、医師が決めます。



- ・この薬は、1週間単位（下の表のように）で飲む薬の量が決められます。通常、1回に飲む量は1カプセルで、1週間で3カプセルを飲みます。1週間に飲む最大量は、4カプセルです。
- ・1週間に飲む回数
飲み始めの日から2日目にかけて12時間間隔で朝、夜、朝というように3回に分けて飲みます。

残りの5日間は薬を飲みません。したがって、毎週同じ曜日から飲み始めます。




ただし、あなたの症状などに合わせて飲む量が加減されます。4カプセルを飲む場合でも12時間間隔で3回に分けて飲みますので、朝2カプセル、夜1カプセル、翌朝1カプセルの順で飲んでください（下の表を参考としてください）。

決められた順に、決められた量を飲むことが大切です。





〔1週間に2カプセルを飲む場合〕

飲み始めの日(1日)			2日			3日	4日	5日	6日	7日
朝	昼	夜	朝	昼	夜					
			薬は飲みません							

〔1週間に3カプセルを飲む場合〕

飲み始めの日(1日)			2日			3日	4日	5日	6日	7日
朝	昼	夜	朝	昼	夜					
				薬は飲みません						

〔1週間に4カプセルを飲む場合〕

飲み始めの日(1日)			2日			3日	4日	5日	6日	7日
朝	昼	夜	朝	昼	夜					
 				薬は飲みません						

●どのように飲むか？

コップ1杯あるいはそれ以上の多めの水またはぬるま湯で飲んでください。この薬は寝る直前に飲むと食道に留まって潰瘍を起こすおそれがあるので、飲んだ後すぐには横にならないようにしてください。

●飲み忘れた場合の対応

この薬は、1週間のうち決められた日の決められた時間にだけ飲みますので、決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れに気づいた場合には、その薬は飲まずにとばして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。

●多く使用した時（過量服用時）の対応

- ・1週間に飲んだ量が10カプセル（20mg）を超えた場合は、骨髄抑制（出血しやすい、発熱、からだがだるい）などの重篤な副作用が起こる可能性が高くなります。
- ・誤って多く飲んでしまったら、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。過量使用の治療薬としてロイコボリンがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は1週間のうち指示された日時に、指示された量だけ飲みます。指示されていない日には飲まないでください。
- ・この薬の使用開始前に胸部X線等の検査があります。
- ・この薬の使用中は通常4週間ごとに血液検査等があります。
- ・この薬の副作用の中には、発見が遅れると重症になるものがあります。下記の症状に気づいた場合には次回の薬は飲まずに、すぐに医師または薬剤師に連絡してください。

発熱、せき（からせき）、息切れ、息苦しさ、口内炎、（ひどく）疲れやすい、のどの痛み、からだがむくんだ、かぜのような症状、尿の量・回数が急に減った

- ・本人あるいはパートナーの方がこの薬を飲んでいるあいだは、妊娠しないように注意してください。この薬を飲んでいる間に妊娠がわかった場合には、すぐに主治医に相談してください。
- ・妊娠を希望する女性は、飲むのを中止した後少なくとも2回目の生理が認められるまでは、妊娠しないように注意してください。
また、男性は、飲むのを中止した後少なくとも3ヶ月間は、パートナーが妊娠しないように注意してください。
- ・この薬により、体の抵抗力が弱まり、かぜなどの感染症にかかりやすくなる場合があります。人ごみを避けたり、外出後は手洗いやうがいなどをしたり、感染症にかからないように気をつけてください。
- ・この薬を飲んでいる間は生ワクチン〔麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）、BCG、ポリオ（小児まひ）など〕の接種はできません。接種の必要がある場合には主治医に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

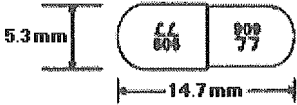
副作用	自覚症状
ショック しょくく	めまい、頭痛、立ちくらみ
アナフィラキシー 様症状 あなふいらきしーようしょうじょう	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだのだるい、考えがまとまらない、ほてり、ふらつき、意識の低

	下
骨髄抑制 こつずいよくせい	鼻血、息切れ、あおあざができる、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、からだがだるい、発熱、出血しやすい
感染症 かんせんしょう	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐
劇症肝炎 げきしょうかんえん	食欲不振、発熱、吐き気、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿が黄色い、頭痛、意識がなくなる、嘔吐、考えがまとまらない、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ
肝不全 かんふぜん	食欲不振、吐き気、嘔吐、羽ばたくような手のふるえ
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
尿細管壊死 にょうさいかんえし	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
重症ネフロパチー じゅうしょうネフロパチー	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、頭痛
肺線維症 はいせんいしょう	頭痛、から咳、息苦しい、息切れ、発熱
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (すてい-ぶんずーじょんそんしょうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
中毒性表皮壊死症 (Lylell 症候群) ちゅうどくせいひょうひえししょう (らいえるしょうこうぐん)	関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、からだがだるい
出血性腸炎 しゅっけつせいちょうえん	下痢、激しい腹痛、血が混ざった便
壊死性腸炎 えしせいちょうえん	腹が張る、嘔吐、下痢、血が混ざった便
腓炎 すいえん	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中の痛み、嘔吐
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	腰・背中の痛み、骨折しやすくなる、手足の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、立ちくらみ、ふらつき、からだのむくみ、疲れやすい、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、骨折しやすくなる、かぜのような症状
頭部	めまい、頭痛、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる
顔面	ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
口や喉	眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、歯ぐきの出血、嘔吐、吐き気、から咳、ひどい口内炎、唇や口内のただれ
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、吐き気、
腹部	吐き気、食欲不振、激しい腹痛、腹が張る、胃・おなかの激しい痛み
背中	背中での痛み、腰・背中での痛み
手・足	羽ばたくような手のふるえ、関節での痛み、手足での痛み
皮膚	じんましん、青あざができる、皮膚が黄色くなる、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡
便	下痢、血が混ざった便
尿	尿が黄色い、尿量が減る、尿がでない
その他	判断力の低下、出血が止まりにくい、出血しやすい、陰部の痛み

【この薬の形は？】

種類	硬カプセル	
直径	5.3mm	
長さ	14.7mm	
色	黄色	
識別コード	LL 606	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メトトレキサート
------	----------

添加物	トウモロコシデンプン、部分アルファ 化デンプン、乳糖、ステアリン酸マグネ シウム、水酸化ナトリウム、塩酸、ラウ リル硫酸ナトリウム、ゼラチン
-----	---

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ワイス株式会社

(<http://wyeth.jp>)

ワイスクすりの情報室

電話番号：03-3561-8720

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

パナルジン錠 パナルジン細粒 10%

【この薬は？】

販売名	パナルジン錠 Panaldine Tablets	パナルジン細粒 10% Panaldine Fine Granules 10%
一般名	塩酸チクロピジン ticlopidine hydrochloride	塩酸チクロピジン ticlopidine hydrochloride
含有量	100mg (1錠中)	100mg (1g中)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗血小板剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血液の中の血小板の働きを抑えることにより、血管の中で血の塊（血栓）ができやすくなっている状態を改善し血栓症の再発を防ぎます。
- ・次の病気の人に処方されます。

血管手術および血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療ならびに血流障害の改善

慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの阻血性諸症状の改善
(閉塞性動脈硬化症など手・足の血栓症に伴い、潰瘍、疼痛、冷感などの症状がある人)

虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（TIA）、脳梗塞）に伴う血栓・塞栓の治療

クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善

- ・この薬は、体調がよくなったと自分の判断で使用を止めたり、量を加減すると、

病気が悪化したり、再発することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）、無顆粒球症、重篤な肝障害等の重大な副作用が発現し、中には死亡にいたる例も報告されています。副作用を思わせる初期症状を自覚したらただちに医師等に連絡し、指示に従ってください。 [この薬の使用中に気をつけなければならないことは？] の項を確認してください。このような副作用は、ほとんどの場合、飲み始めてから2か月以内にわかります。
- 飲み始めの2か月間は、重大な副作用の早期発見のため定期的に血液検査を行う必要があるので、原則として2週に1回受診するよう指示されます。その後も定期的に血液検査などが行われます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・出血している人
 - ・肝臓に重篤な障害のある人
 - ・白血球が少なくなっている人
 - ・過去にパナルジンなど塩酸チクロピジンを含む薬で白血球が少なくなったことがある人
 - ・過去にパナルジンなど塩酸チクロピジンを含む薬で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、原則としてこの薬を使用することはできません。
 - ・肝臓に障害のある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
 - ・月経期間中の人
 - ・出血しやすい人
 - ・肝臓に障害があった人
 - ・白血球が少なくなったことがある人
 - ・高血圧の人
 - ・手術（抜歯を含む）を予定している人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

一般的に使用する量と回数は次のとおりです。

効能・効果（飲む目的）	飲む錠数・量	服薬回数
血管手術および血液体外循環に伴う血栓・塞栓の治療ならびに血流障害の改善	1日2～3錠または細粒2～3g	1日2回、朝・夕、または1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。

慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの阻血性諸症状の改善	1日3～6錠または細粒3～6g	1日2回、朝・夕、または1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。
虚血性脳血管障害に伴う血栓・塞栓の治療	1日2～3錠または細粒2～3g	1日1回、朝・昼・夕のいずれか、または、1日2回、朝・夕、または、1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。
クモ膜下出血術後の脳血管攣縮に伴う血流障害の改善	1日3錠または細粒3g	1日3回、朝・昼・夕の食後30分以内に飲むよう指示されます。

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲みます（細粒剤は、長く口の中に含んでいると、苦味が残ることがあるため速やかに飲み下してください）。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一緒に飲まないでください。

気付いたらすぐに1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近いときは忘れた分を抜いて、次回から指示どおり飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・飲み始めの2か月間は、重大な副作用の早期発見のため定期的に検査を行う必要があるため、原則として2週に1回受診してください。その後も定期的に血液検査などが行われます。
- ・けがをしないように注意してください。出血した場合、血が止まりにくくなっています。出血が長引く場合やけがの範囲が大きい場合は、ただちに受診してください。
- ・手術や歯の治療などを受ける場合、必ずパナルジンを飲んでいることを医師に伝えてください。
- ・風邪などで他の薬を購入する場合は、必ずパナルジンを飲んでいることを薬局の薬剤師に伝えてください。
- ・妊婦または妊娠の可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳は避けてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓性血小板減少性紫斑病（TTP） けっせんせいけっしょうばんげんしょうせいしはんびょう（ていーていーびー）	歯ぐきの出血、鼻血、発熱、皮下出血、あおあざができる

無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
重篤な肝障害（劇症肝炎，胆汁う つ滞型肝障害） じゅうとくなかんしょうがい（げきしょうかんえん，たんじゅううつたいがたかんしょうがい）	劇症肝炎 [吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、判断力の低下、尿が黄色い、頭痛、意識がなくなる、嘔吐、考えがまとまらない、発熱、意識の低下、羽ばたくような手のふるえ] 胆汁うっ滞性肝炎 [吐き気、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、嘔吐、褐色尿、食欲不振]
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	階段や坂を上る時の動悸や息切れ、鼻血、動悸、息切れ、あおあざができる、めまい、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、動悸、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおあざができる、息切れ
赤芽球癆 せきがきゅうろう	からだがだるい、動悸、めまい、息切れ
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	あおあざができる、歯ぐきの出血、出血しやすい
出血（脳出血等の頭蓋内出血，消化 管出血等の重篤な出血） しゅっけつ（のうしゅっけつなどのずがないしゅっけつ，しょうかかんしゅっけつなどのじゅうとくなしゅっけつ）	脳出血 [片側のまひ、吐き気、嘔吐、判断力の低下、半身不随、しゃべりにくい、意識の低下、手足のまひ、しびれ、考えがまとまらない、頭痛、意識を失って深く眠りこむ] 消化管出血 [血が混ざった便、黒色便、吐き気、血を吐く、腹痛、嘔吐]
中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群） ちゅうどくせいひょうひえししょう（らいえるしょうこうぐん）	関節の痛み、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、からだがだるい
皮膚粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん （すていーぶんす・じょんそんしょうこうぐん）	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだがだるい、結膜のただれ
多形滲出性紅斑 たけいしんしゅつせいこうはん	発熱、関節の痛み、発疹やみずぶくれができる
紅皮症 こうひしょう	発熱、からだがだるい、皮膚がはがれおちる、皮膚が赤くなる、食欲不振
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	胃潰瘍 [吐き気、嘔吐、胸やけ、みぞおちの痛み] 十二指腸潰瘍 [吐き気、みぞおちの痛み、押すと痛い、胸やけ、嘔吐]

急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだがだるい、息苦しい、からだのむくみ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、息苦しい、発熱、から咳
SLE 様症状（発熱、関節痛、胸部痛、胸水貯留、抗核抗体陽性等） えすえるいーようしょうじょう（はつねつ、かんせつつう、きょうぶつう、きょうすいちよりゅう、こうかくこうたいようせいなど）	顔に蝶型の赤い斑点、発熱、関節の痛み、からだがだるい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、高熱、押すと痛い、疲れやすい、からだのむくみ
頭部	頭痛、めまい、意識の低下、考えがまとまらない、意識がなくなる
顔面	鼻血、顔に蝶型の赤い斑点
眼	白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはれぼったい
耳	耳鳴り
口や喉	吐き気、嘔吐、歯ぐきの出血、のどの痛み、しゃべりにくい、血を吐く、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、から咳
胸部	吐き気、動悸、息切れ、息苦しい、胸やけ、階段や坂を上る時の動悸や息切れ
腹部	吐き気、食欲不振、みぞおちの痛み、腹痛
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、片側のまひ、半身不随、手足のまひ、しびれ
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮下出血、痛みのある赤い肌、全身の赤い斑点と破れやすい水泡、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、発疹やみずぶくれができる、皮膚がはがれおちる、皮膚が赤くなる
便	血が混ざった便、黒色便
尿	尿が黄色い、褐色尿、尿量が減る、尿がでない
その他	出血しやすい、判断力の低下、出血が止まりにくい、意識を失って深く眠りこむ、陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	パナルジン錠	パナルジン細粒 10%
形状	円形の錠剤	細粒
直径	8.3mm	—
厚さ	4.6mm	—
重さ	約 208mg	—
色	白色～淡黄白色	白色～微黄白色
識別コード	D613	—

【この薬に含まれているのは？】

販売名	パナルジン錠	パナルジン細粒 10%
有効成分	塩酸チクロピジン	塩酸チクロピジン
添加物	乳糖、トウモロコシデンプン、カルメロース、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、硬化油、シヨ糖脂肪酸エステル、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、酸化チタン、マクロゴール 6000、タルク、ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素	乳糖、セルロース、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、メタクリル酸コポリマーLD、ラウリル硫酸ナトリウム、ポリソルベート 80、マクロゴール 6000、タルク、シヨ糖脂肪酸エステル、無水ケイ酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一製薬株式会社 (<http://www.daiichipharm.co.jp>)

製品情報センター（くすりの相談窓口）：03-3663-1191

受付時間：月～金曜日 8:45～17:30（祝祭日を除く）